



隠岐水だより

隠岐水産高等学校 PTAだより

海洋訓練

7月17日(水)～20日(土)の期間中、海洋訓練を実施しました。この訓練は、隠岐水産高校の登龍門と呼ばれ毎年1年生が行います。この訓練の目標は、カッターの漕艇で心身をたくましく鍛え、集団宿泊訓練では、協調性を養い、規律を重んじ、責任ある態度を育成することです。今年は、梅雨明けしない天候の中での実施であったために、例年と違い気温も低く、涼しい中での開催となりましたが、一方で漕艇できない日もあり、メニュー変更をしなければならぬなど、苦労もありました。カッター漕艇は、1日目の西郷湾内と3日目午後の学校から黒島まで、そして、最終日のレース時のみとなりました。漕艇できないときには、ロープワーク、スプライス、機関実習製品を作製し、生徒はカッターを漕いで大久や加茂に行けなかったことを残念に思っていました。レース時には、雨にもかかわらず多くの保護者が応援に来られていました。皆様の応援ありがとうございました。



港外での漕艇



見送りの方に權立て



食事の様子



最終日のレース

本土地区PTA総会

7月28日(日)松江くにびきメッセにて本土地区PTA総会が行われました。学校長挨拶ならびに学概況報告、各部(教務・進路・生徒指導)からの説明、質疑応答、意見交換後には、2K神海丸乗船説明会と各クラス担任との面談が行われました。休日の中にもかかわらず、遠方から多くの保護者の方が参加されました。



マツキロップ校 体験学習

7月11日(木)にオーストラリアのマツキロップ校より19名の生徒と教員3名が本校に来校し、体験学習を行いました。体育館で歓迎セレモニーを行った後、各コースの体験学習を行いました。「資源生産コース」は、タッチプールと水上バイクの試乗、「食品生産コース」は、赤貝の缶詰製作と試食会、「海洋テクノコース」は、みこしまの体験航海、「エンジニアコース」は、ボルトナットの作製とエアープラスマ切断体験を行いました。本校の生徒と交流をしながらの体験学習は、英語を話す機会が少ない生徒にとっては貴重な体験になったようです。



中学生オーピンスクール

8月17日(土)、18日(日)の2日間本校の各コースの実習棟で島後から30名及び島外から33名の中学生が体験学習を行いました。当日は実習船みこしまの故障により「海洋テクノコース」の体験乗船が操船シミュレーターとロープワークに変更となり、船の乗船を楽しみにしていた中学生は残念がっていましたが、「エンジニアコース」の旋盤作業や電気配線学習、「食品生産コース」のかまぼこ作り、「資源生産コース」の魚の観察等楽しく学んでいました。参加生徒のアンケートでは、「他の高校では学べないことが体験できて良かった」、「海のそばという環境がとても魅力的でした」という感想が多くありました。



南水研究生徒研究発表会 優秀賞

7月26日(金)に山口県長門市の山村別館で日本海南部地区高等学校水産教育研究協議会生徒研究発表会に、本校3年生資源生産コースの櫻井沙良さん、玉井優希君、村上優輝君の3名が「守れ!故郷の海!」藻場再生への取り組み」という題で日頃の実習の成果を発表しました。発表には、日本海南部地区の水産・海洋高校6校が参加し、本校は優秀賞を受賞しました。



第一回全国水産・海洋高等学校 マリンロボットコンテスト

8月1日(木)に東京海洋大学越中島キャンパスにおいて、第一回全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテストが開催され、本校海洋システム科エンジニアコース3年生佐藤蘭さん、南場智輝君の2名が課題研究の授業で製作した水中ロボの実技、プレゼンを競う大会に出場しました。全国から7校の参加があり、本校2名はトラブルがあっても諦めず頑張り、結果は奨励賞並びにCQ出版特別賞を受賞しました。

